

令和6年度入学料免除・納付猶予申請要項（日本人学生用）

- 免除申請にあたっては、本要項を熟読し、十分理解した上で、事実に基づき記入すること。
 - 「入学料免除」申請は、必ずしも「全額免除」が許可されるとは限りません。「入学料免除」の「不許可」、「半額免除」の通知を受けた際に、すぐに入学料を納めることが困難な場合は、「入学料納付猶予」を申請することで入学料納付を8月末日まで猶予することが許可される場合があります。免除申請者で納付猶予が必要な場合は、「入学料免除願」を提出する際に「入学料納付猶予願」も併せて提出すること。（審査の結果、ともに不許可となることがあります。）
 - 学部学生のうち、高等教育の修学支援新制度により、高等学校等で日本学生支援機構の給付奨学金採用候補者となった者及び入学後に本制度申請を希望する場合は、「入学料納付猶予願」を提出する必要があります。本制度の減免額が決定するまで納付を猶予することが許可されます。
- 提出期限を過ぎたものは一切受付しません。また、免除担当から期限を付して請求した不足書類を期限までに提出しない場合は選考から除外します。

1. 免除・納付猶予対象者（申請者）

【免除】

- (1) 経済的理由によって入学料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀と認められる者
- (2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が困難と認められる場合
- (3) 前号に準ずる場合であって、学長が相当と認める理由がある場合

【猶予】

- (1) 経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- (2) 入学前1年以内において、学部及び研究科等に入学する者の学資負担者が死亡し、又は学部及び研究科等に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに納付が困難であると認められる場合
- (3) その他やむを得ない事情があると認められる場合

2. 選考方法及び免除の種類

- (1) 入学料免除の選考は、富山大学教育・学生支援機構学生支援センターにおいて、富山大学入学料免除者選考基準に基づき、学力基準と家計基準のいずれにも該当する者から選考されます。
- (2) 免除許可者は、納付すべき入学料額の全額若しくは半額が免除されます。

3. 申請の流れ

入学手続特設ページ（または修学支援新制度のページ）より申請書類をダウンロード
→ 必要な書類を揃える → 期日厳守の上（角形2号の封筒に入れ）大学へ提出 → 申請受付
→ 不備・不足書類の連絡および再提出 → 選考・決定 → 申請者に選考結果を通知（6月中旬頃を予定）→ （一部免除者・不許可者のみ）決定月の月末（納付猶予許可者は8月末）までに入学料を納付

4. 提出期限

令和6年4月3日（水）17:00まで

※郵送の場合は、提出期限日以前の日本国内の郵便局の消印のある特定記録郵便のみ受付します。
※郵送の際は角形2号の封筒の表に「入学料免除申請書類在中」と記入し、裏面には申請者の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。

5. 提出先

※以下の宛先に郵送すること。学生支援課（五福キャンパス）での窓口提出も可
〒 930-8555 富山市五福 3190
富山大学学務部学生支援課授業料免除担当

6. 選考方法・基準について

選考方法は、学力基準、家計基準のいずれにも該当する者から、予算の範囲内で選考します。基準を満たしていても免除にならない場合があります。

学力基準については、入学試験合格をもって適格とします。

家計基準については、日本人学生および私費外国人留学生によって基準が異なるため、本学ウェブサイトの授業料・入学料免除のページの「家計基準について」の項目を参照してください。

<https://www.u-toyama.ac.jp/studentssupport/financial-support/exemption/>

7. 申請書類の記入方法等について

申請書類は「送付書」を参考の上、不足がないように提出してください。

また、申請書類の記入は、手書きの場合は消えないペンを使用してください。

【独立生計者として申請する場合】

原則、大学院に在籍している学生で次の要件に全て該当する場合のみ、独立生計者として申請することができます。

- ・父母等と別居しており、仕送り等の継続的な援助を受けていない
- ・所得税法上及び健康保険上、父母等の扶養親族ではない
- ・本人（または配偶者）の収入や奨学金のみで生計を立てている

8. 注意事項

- (1) 入学料免除・納付猶予の許可の決定までは、入学料を納付しないこと。
- (2) 提出された書類は返却、閲覧、貸出に応じないので提出前に自分でコピーすること。また、本学から免除に関して連絡をすることがあるので、**免除担当の連絡先を登録し、担当からの電話には必ず対応すること。連絡が取れない場合は、選考から除外します。**
- (3) 記入した字句等を修正する場合は、修正液（テープ）等を使用せず、必ず訂正箇所にも二重線を引き、訂正印を押すこと。※消えないボールペンで記入してください。
- (4) **提出時に学籍番号が不明な場合は、学籍番号記入欄は全て空欄で提出すること。**なお、受験番号の記入を指示している部分は、忘れずに記入すること。
- (5) 入学料免除・納付猶予申請を辞退する場合は、「辞退届」を記入のうえ、レターパックライトとともに免除担当窓口へ提出すること。
- (6) 申請書類等に虚偽の事実が判明した場合は申請無効とし、富山大学授業料免除及び徴収猶予に関する内規第17条により免除を取り消します。
- (7) 提出された書類に含まれる個人情報は、入学料免除者の選考及び調査並びに学生支援業務以外には使用しません。

【免除担当窓口】

学務部学生支援課 TEL 076-445-6087

※所属キャンパスを問わず、学生支援課より連絡する場合があります。

令和6年度入学料免除等申請書類送付書

富山大学受験番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

入学料免除等申請は、この「令和6年度入学料免除等申請書類送付書」に受験番号及び提出書類の確認欄に✓を記入し、この送付書と入学料免除関係書類等をクリップ等でとめ、提出すること。

全申請者が提出		依頼先	確認欄
・入学料免除願	学生本人、学資負担者がそれぞれ自署すること	/	
・入学料納付猶予願（申請希望者）	※提出済みの場合を除く		
・家庭調書	就学者の兄弟姉妹が学資負担者の住民票と別になっている場合も、必ず記入すること		
・レターパックライト	「お届け先欄」を記入し、二つ折りにして提出	郵便局等	
・所得課税証明書又は非課税証明書 【独立生計者ではない場合】 申請者（学生）と学資負担者（原則として父母両方）のもの 【独立生計者の場合】 申請者（学生）のもの ※配偶者がいる場合は配偶者分も必要	令和5年度分（申請日時点で最新のもの）に限る 令和4年1月から12月までの収入金額・控除額・税額が明記されているもの （所得がない場合は0円と記載されているもの） ※両親が離別または死別していない限り、原則父母両方のものがが必要です ※源泉徴収票、確定申告書、住民税の決定通知書等は全て認めていません ※独立生計者の条件は、申請要項を確認すること ※コピー不可	市区役所 又は町村役場	
・住民票 【独立生計者ではない場合】 世帯全員のもの 【独立生計者の場合】 学生本人（又はその配偶者）が世帯主であることがわかるもの	令和6年1月1日以降に発行された「世帯全員の」という文言の記載されているもの <u>世帯主・続柄の記載の省略はしないこと</u> ※学生本人が学資負担者の住民票と別になっている場合は、学生本人分の住民票は不要 ※住民票に記載されていない兄弟姉妹のうち就学者がいる場合は、令和6年1月1日以降に発行された在学証明書の提出でも可 ※家庭調書の家族構成と異なる場合は、氏名の横にその詳細を記入すること 例) ○○ ○○ 姉：就職し別住所に在住 ※コピー不可		

該当者のみ提出		依頼先	確認欄
独立生計者	該当者全員	/	
母子・父子世帯	該当者全員		
風水害等により被災した世帯	該当者全員	市区町村・消防署	

※ 上記以外にも必要に応じて、書類の提出を求める場合があります。

(2号様式)

令和 年 月 日

富 山 大 学 長 殿

本	令和 6 年 月入学							
	学 部 研究科 学 環				学 科 専 攻 プログラム			
	学籍番号							
人	住所(〒 -) (下宿等)							
	フリガナ 氏名 (自署)							
学 資 負 担 者	住所(〒 -)							
	フリガナ 氏名 (自署)							
	本人との続柄							

入 学 料 納 付 猶 予 願

下記により令和6年度入学料の延納を受けたいので、学資負担者連署の上お願いします。

記

- I 延納方法 令和6年8月31日まで延納
(又は本学が指定する日のうち、いずれか早い日)
- II 理 由(具体的かつ詳細に記入すること)

家庭調書（給付奨学生・日本人大学院生用）

①所属	学部 研究科/学環 教育部	学科(課程) 専攻 プログラム	学籍 番号						
フリガナ				通学区分	自宅・自宅外				
②氏名				過去の 授業料免除状況					
③住所等	本人住所等 携帯Tel () - e-mail	学 連 絡 先 者	(〒 -) Tel () -	項目	免除結果等				
				R5 前期	全免・半免・ /3・申請なし				
				R5 後期	全免・半免・ /3・申請なし				
				区分	I・II・III・ 外				

所得に関する事項

続柄	氏名	年齢	職業	大学認定(記入欄) 市町村民税所得割額		
④本人			富山大学 第 学年			
⑤家族及び所得(別居者に×印)	⑥就学者を除く家族	父				
		母				
	⑦就学者	続柄	氏名	年齢	在 schools 名	学年
				国立 公立 私立		
				国立 公立 私立		
				国立 公立 私立		

⑨生活保護世帯	生活保護費支給証に記載の被保護者氏名 () 世帯人員 (名) 支給額 (支給月額 円 × 12 = 年間支給額 千円)
⑩主たる家計支持者 無職・失業	無職・失業年月日 年 月 日 無職・失業の理由 () 生活費の出所 ()

猶予

入学料納付猶予願の記入例

令和 年 月 日

入学手続の日を記入すること

富 山 大 学 長 殿

本 人	令和 6 年 4 月入学	
	工学部 研究科 学環	○○○○ 専攻 プログラム
	学籍番号	記入しな
	住所(〒 930 - 0887) (下宿等) 富山市五福1区○ - ○ - ○ 富山ハイツ○号	
学 資 負 担 者	フリガナ タテ ヤマ イチ ロー 氏名 立 山 一 郎 (自署)	
	住所(〒 ○○○ - △△△△) 石川県金沢市○○町○丁目○番○号	
	フリガナ タテ ヤマ 太郎 氏名 立 山 太 郎 (自署)	
	本人との続柄 父	

学生本人・学資負担者のそれぞれが記入すること。

住所については、下宿先が決まっていない場合は現住所で可。

私費外国人留学生および独立生計者は学資負担者欄に「本人」を記入すること。

入 学 料 納 付 猶 予 願

下記により令和6年度入学料の延納を受けたいので、学資負担者連署の上お願いします。

記

I 延納方法 令和6年8月31日まで延納
(又は本学が指定する日のうち、いずれか早い日)

II 理由(具体的かつ詳細に記入すること)

入学料納付猶予を申請するに至った家庭事情や、特に説明を記入。(100文字以上, 200文字以内)

入学料納付猶予願は学生本人からの提出書類です。学資負担者の立場で記入してある場合は受理せず、提出書類を返却します。

※白紙の場合は書類不備とします。

学生本人が記入すること。

家庭調書（給付奨学生・日本人大学院生用）

①所属	学部 研究科/学環 教育部	学科(課程) 専攻 プログラム	学籍 番号	記入しない
フリガナ				通学区分 自宅・自宅外
②氏名	立山 一郎			過去の 授業料免除状況
③住所等	(〒 -)	令和6年4月時点の現住所を記入		項目
	必ず記入	学 連 絡 負 担 者		R5 前期
	携帯Tel () -			R5 後期
本人住所等	e-mail	Tel () -		免除結果等 /3・申請なし 全免・半免・ /3・申請なし

大学認定(記入欄)	
世帯人員	人
独立生計者	有・無
生活保護世帯	有・無
非課税世帯	有・無
ひとり親	有・無
多子世帯	有・無
Jasso給付	有・無
区分	I・II・III・外

所得に関する事項

	続柄	氏名	年齢	職業	大学認定(記入欄) 市町村民税所得割額	
④本人	立山 一郎	本人欄に 学生氏名を記入	20	富山大学 第 3 学年		
⑤家族及び所得(別居者に×印)	父	立山 太郎	50	自営業	令和6年4月時点の学年を記入	
	母	立山 花子	50	パート		
	祖母	立山 春子	80	無職		
	×妹	立山 ナツ	18	会社員		
					該当するものに○	
⑦就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名	学年	大学認定(記入欄) 就学者控除
	弟	立山 二郎	19	国立 公立 私立	〇〇大学	2
				国立 公立 私立	在学学校名を正確 に記入すること (予定を含む)	令和6年4月時点 の学年を記入
				国立 公立 私立		

⑨生活保護世帯	生活保護費支給証に記載の被保護者氏名 () 世帯人員 (名)
	支給額 (支給月額 円 × 12 = 年間支給額 千円)
⑩主たる家計支持者 無職・失業	無職・失業年月日 年 月 日 無職・失業の理由 ()
	生活費の出所 ()

令和6年度入学料免除・入学料納付猶予辞退届

令和6年 月 日

学籍番号

(または受験番号)

学 部

学科

研究科

専攻

所 属

学 環

プログラム

氏 名

令和6年度 {入学料免除・入学料納付猶予} 申請を下記の理由により辞退します。

※該当するものに○を記入

記

辞退理由

(申請者本人が記入)

※入学料免除・入学料納付猶予申請を辞退する場合は、「入学料免除（納付猶予）願」及びこの「辞退届」を記入し、免除担当窓口に提出すること。